

気づきマップの作り方

みんなで作ってみましょう。

気づきマップを作ること、危険箇所を確認することができ、また集落内で情報を共有することができます。

1. 避難場所の記入

取り決めを行った避難場所を書き込んでみましょう。

- ・ 町の指定避難所
- ・ 一時避難所
- ・ その他、地震時に集まる広場など

2. 危険箇所の記入

ハザードマップに載っていない危険箇所を確認して書き込んでみましょう。

- ・ いつも山から水が出ている。
- ・ 雨が降るといつも水がたまる。
- ・ 山の斜面に地割れがある。
- ・ 大きな水路でいつも、たくさん水が流れている。

3. 避難に支援が必要なかたの記入

避難に支援が必要なかたがどこに住んでいるか確認し、場所を書き込んでみましょう。また、そのかたが住んでいる家の状況を確認しておきましょう。

- (例) ・ 川沿い
- ・ 浸水想定区域内
 - ・ 土砂災害警戒区域内
 - ・ 平屋建て など

〇〇〇集落

